

メッセージアウトライン ヨハネ17：6~19「悪い者から守って」

6～19節はイエスの弟子たちのための祈りである。

イエスは12人の者たちを弟子として召されたが、彼らはもともと父なる神によって選ばれた者たちで、父のものであって、それを世から取り出してイエスにくださったのである。(6)ここに計りがたい神の選びがあらわされている。12弟子だけではなくすべてのクリスチャンの救いもこの神の選びによる。→エペソ1:4~5

そしてイエスはこの弟子たちに、父なる神の御名を明らかにされた。「御名」とはその本質であり、したがってイエスは父なる神の本質を明らかにし、弟子たちはそれによって信仰を告白し、父なる神のみことばを守るものとなったのである。これは彼らがイエスが語ったみことばに従い続け、それを守り続けたということの意味する。「あなたがわたしにくださったもの」(7)とはイエスのことば、行ない、使命、教え等のすべてである。弟子たちはもうそれらがみな父なる神から出ていることを知っているという。それはイエスが彼らに与えたみことばによって知り、信じたのである。(8)彼らは父なる神と子なる神イエスとの密接な関係を理解した。イエスは彼らのために祈られる。(9)この祈られ、使命をゆだねられた弟子たちが世に出ていって救いの福音を宣べ伝えるのである。イエスはもうすぐ世を去って天の父なる神のもとに帰られるので、イエスが去られてからも、弟子たちがバラバラになるのではなく、一つとなれるように、あなたの御名の中に彼らを保ってくださいと祈られる。(11)すなわち神ご自身の中、その保護と守りの中にある。イエスが地上におられた間は、イエスご自身が父なる神の御名において彼らを保ち守っておられた。(12)そしてイエスはご自分が父なる神のもとに帰られた後でも、弟子たちが失望落胆することなく、ご自分と同じ喜びを経験できるように願っておられる。(13)世は彼らを憎むが、イエスは彼らをこの世から取り去ってくださいとは願わず、悪い者から守ってくださるようにと願う。(14,15)彼らはイエスの弟子としてこの世でなすべき多くの使命があるのである。すべてのクリスチャンは神の守りと導きがなければ信仰の歩みとその使命を全うすることはできない。16~17節は、14~15節で言われたことを別の面から言っているところである。弟子たちは単に悪魔の力から守られるだけでなく、真理によって聖め別たれ、その真理のうちに生きなければならない。真理とは神のみことばである。今やイエスは、ご自分に代わって使命を達成するために、弟子たちを世に遣わされる。(18)いよいよ使徒の働きの時代が始まるのである。

「わたしは、彼らのため、わたし自身を聖め別ちます。彼ら自身も真理によって聖め別たれるためです」(19)「聖め別つ」とは神のために取り分ける、神のためにささげられたものとするという意味。単に口だけで神のみこころを知らせて、世の人々と違ってあなたがたは聖く生きなさいと指図するだけではなく、罪深くともそれに従いきれない弟子たち、私たちをきよめ、罪を贖うためにイエスはご自身を神のためにささげられたものとされるのである。イエスの十字架の死によって、私たちはこの世から聖め別たれ、世に遣わされるものとされるのである。私たちもイエスの祈りによって守られ支えられ、聖め別たれている者として、今この地上でみことばに従いつつ、福音を宣べ伝える者となろう。

